

1 参画の対象について記入してください。

対象の名称	矢沢地区における義務教育学校設置に係る基本構想・基本設計	計画等の策定日（制定日）	令和7年8月22日
対象区分	(特定地域)建物		
対象の内容	<p>【目的】矢沢小中PTA及び地域からの要望を受け、義務教育学校設置に向けた整備を行うもの</p> <p>【内容】矢沢地区に設置しようとする義務教育学校の教育目標や目指す姿、特色など教育の基本的な考え方と、施設の必要機能や規模などの整備方針等を基本構想において定め、その構想に基づき建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備、建物内外のデザイン等といった基本設計を実施</p> <p>【建設完成までのスケジュール】 実施設計：令和7年9月から令和8年7月まで 工事予定：令和8年9月から令和10年9月まで 開校予定：令和10年4月</p>		

2 実施した方法の詳細について記入してください。

	当初予定	実施内容
方法①	その他適切と判断される方法	その他適切と判断される方法
名 称	矢沢地区の義務教育学校設立委員会における意見聴取	矢沢地区の義務教育学校設立委員会における意見聴取
周知方法 及び 周知時期	各開催日の2週間以上前に郵送等により通知する。	各開催日の2週間以上前に郵送等により通知した。
実施時期 (月日) 及び 実施回数	令和5年11月（説明）、 令和6年1月、3月、7月：計4回	令和5年11月10日 令和6年1月24日 令和6年3月18日 令和6年5月22日（書面） 令和6年10月29日 令和7年5月12日 計6回
対象者 (対象 地域)	設立委員会構成員50人程度 (矢沢地区関係団体役員、矢沢小中学校PTA、矢沢小中学校教職員、矢沢地区有識者、学識経験者、教育委員会)	設立委員会構成員（矢沢地区関係団体役員、矢沢小中学校PTA、矢沢小中学校教職員、矢沢地区有識者、教育委員会）
実施結果 及び 意見提出 件数等		出席者 延べ140人、意見9件

方法①	当初予定	実施内容
結果公表 の方法	各回開催後、市ホームページに掲載するほか、委員会だよりを作成し矢沢地区住民に全世帯配布する。	市ホームページに掲載及び委員会だよりを発行した。 (令和5年12月1日、令和6年2月15日、令和6年4月1日、令和6年7月1日、令和6年11月15日、令和7年6月15日)

3 実施した方法の自己評価を記入してください。

<input type="checkbox"/> 市民参画により効果があったことを記入してください
基本構想及び基本設計を策定するにあたり、策定段階で地域等の意見聴取の場を設けることにより、地域等の意見を反映した計画策定とすることことができた。
<input type="checkbox"/> 予定を変更して実施した場合はその内容と理由を記入してください
当初の予定では、基本設計を令和6年10月までとしていたものの、基本設計の検討に時間を要したため、基本設計の工期を令和7年7月に延長したこと、実施回数を4回から6回に変更したもの。
<input type="checkbox"/> 反省点があれば記入してください
<input type="checkbox"/> 市民参画の実施に当たって改善点があれば記入してください

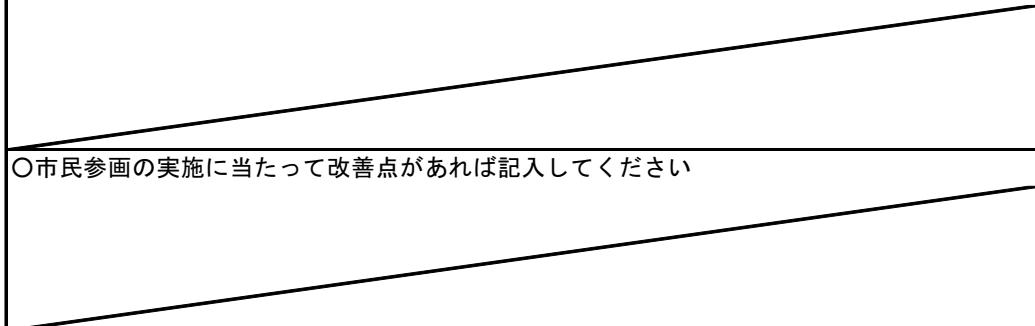
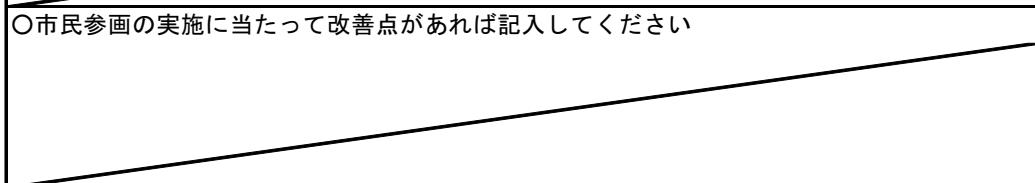
対象の名称 矢沢地区義務教育学校の設置

2 実施した方法の詳細について記入してください。

	当初予定	実施内容
方法②	ワークショップの実施	ワークショップの実施
名称	矢沢地区の義務教育学校設置に関するワークショップ	矢沢地区の義務教育学校設置に関するワークショップ
周知方法及び周知時期	①開催日の2週間以上前に、矢沢地区関係団体には郵送で、PTAには学校を通じて開催を周知し、参加者の推薦をいただく。 ②開催日の2週間以上前に、学校を通じて、児童生徒に周知する。	①開催日の2週間以上前に、矢沢地区関係団体には郵送で、PTAには学校を通じて開催を周知し、参加者の推薦をいただいた。 ②開催日の2週間以上前に、学校を通じて、児童生徒に周知した。
実施時期(月日)及び実施回数	①令和5年12月：小中学校PTA、矢沢地区関係団体 1回 ②令和5年12月：全児童生徒（小学校5年生以上）1回	①令和5年12月17日 小中学校PTA、矢沢地区関係団体 1回 ②令和6年2月7日：矢沢小5年生 令和6年2月15日：矢沢小6年生 令和6年2月19日：矢沢中1・2年生 1回
対象者(対象地域)	①矢沢地区関係団体、矢沢小中学校PTA20人程度 ②矢沢小学校5年生、6年生、矢沢中学校1年生、2年生、3年生	①矢沢地区関係団体、矢沢小中学校PTA ②矢沢小学校5年生、6年生、矢沢中学校1年生、2年生
実施結果及び意見提出件数等		①参加者26人 意見495件 ②参加者238人 意見1,338件 （意見の件数は、ワークショップにおける付せんにより計数）

方法②	当初予定	実施内容
結果公表の方法	開催後、市ホームページに掲載するほか、委員会だよりも掲載することで矢沢地区住民に公表する。	市ホームページに掲載及び矢沢地区住民に委員会だよりを発行した。 (令和6年2月15日、令和6年4月1日)

3 実施した方法の自己評価を記入してください。

<input type="radio"/> 市民参画により効果があったことを記入してください 子どもの意見を聞く場を設けることで、子どもの意見を反映できる市民参画を実施することができた。また、保護者や地域の関係者とのワークショップを開催することで、多様な世代から意見集約することができた。
<input type="radio"/> 予定を変更して実施した場合はその内容と理由を記入してください 小学校5年生以上の全児童生徒を対象としたワークショップについては、小中学校との日程調整により2月実施となったことから、高校受験に配慮して矢沢中3年生を除外した。
<input type="radio"/> 反省点があれば記入してください 
<input type="radio"/> 市民参画の実施に当たって改善点があれば記入してください 

方法②

対象の名称 矢沢地区義務教育学校の設置

2 実施した方法の詳細について記入してください。

	当初予定	実施内容
方法③	意見交換会の開催	意見交換会の開催
名称	地域説明会（矢沢地区住民、小中学校PTA）	地域説明会（矢沢地区住民、小中学校PTA）
周知方法及び周知時期	①各開催日の2週間以上前に市ホームページや回覧チラシ又は委員会だよりにより周知する。 ②各開催日の2週間以上前に学校を通じて周知する。	地区住民については、各開催日の2週間以上前に市ホームページと委員会だよりにより周知した。 PTAについては、各開催日の2週間以上前に学校を通じて周知した。
実施時期（月日）及び実施回数	①令和6年4月、7月：矢沢地区住民2回 ②令和6年4月、7月：小中学校PTA2回	令和6年4月20日：矢沢小学校PTA 令和6年4月22日：矢沢地区住民 令和6年4月25日：矢沢中学校PTA 計3回
対象者（対象地域）	①矢沢地区住民 ②矢沢小中学校PTA	矢沢地区住民、矢沢小中学校PTA
実施結果及び意見提出件数等		矢沢地区住民 参加者5人 意見4件 矢沢小PTA 参加者151人 意見8件 矢沢中PTA 参加者32人 意見6件

方法③	当初予定	実施内容
結果公表の方法	開催後、市ホームページに掲載するほか、委員会だよりにも掲載することで矢沢地区住民に公表する。	市ホームページに掲載及び委員会だよりを発行した。 (令和6年7月1日)
3 実施した方法の自己評価を記入してください。		
<input type="checkbox"/> 市民参画により効果があったことを記入してください		
PTA行事と連動して開催することで、多くの保護者に対して意見聴取する場を確保することでき、基本構想の策定に地域等の意見を反映することができた。		
<input type="checkbox"/> 予定を変更して実施した場合はその内容と理由を記入してください		
当初の予定では、基本構想の策定段階で意見交換会を行う予定であったが、より意見を出しやすい機会とするため基本構想（案）に対する意見交換会に変更したため、開催日程を集約して行うことになった。		
<input type="checkbox"/> 反省点があれば記入してください		
矢沢地区住民への説明会開催において、チラシ（委員会だより）紙面の工夫や開催曜日を週末にするなどの工夫が必要であった。		
<input type="checkbox"/> 市民参画の実施に当たって改善点があれば記入してください		
地区住民への意見聴取方法として、アンケートフォームを併用して活用することで多くの参画の機会を確保することができると思われる。		

方法③

対象の名称 矢沢地区における義務教育学校設置に係る基本構想・基本設計

4 市民参画実施チェック項目

1 市民参画の方法について（2つ以上的方法を組み合わせるものとし、実施済の市民参画はすべて記載すること）

- 意向調査 パブリック 意見交換会 ワークショップ 審議会その他の附属機関における委員の公募 上記のほか適切と判断される方法(関係団体等からの意見聴取・市民会議の開催)
 こども施策の場合、市民参画の対象者にこども(こども本人が意思表明が難しい年齢等の場合は保護者や関係者など)を含めた

2 周知方法について（意向調査を除き、広報・ホームページ・SNSに掲載するほか、必要に応じて次の方法を活用し十分な周知を図るもの。）

- 広報 ホームページ SNS FMはなまき 有線放送 報道機関への発表 公共施設等への資料備付 その他適当と認める方法(委員会だよりの発行)

3 パブリックコメントを行う場合について

- 意見の提出期間は、30日以上となっている実施期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日まで 日間 (特別な事情により期間を短く設定する場合は、事前に地域づくり課へ協議すること。)

- 計画等の公表場所及び方法は 広報 ホームページ SNS FMはなまき 有線放送 報道機関への発表 公共施設等への資料備付 その他適当と認める方法 ()

【参考】

方法①	内 訳	実施コスト計	19,200 円
参画実施コスト	基本構想検討への助言に対する謝礼金 15,000円		
	用紙代 2,100円		
	印刷代 2,100円		

【参考】

方法②	内 訳	実施コスト計	4,000 円
参画実施コスト	ワークショップ事務用品 4,000円		

【参考】

方法③	内 訳	実施コスト計	2,000 円
参画実施コスト	用紙代 1,000円		
	印刷代 1,000円		

【参考】

方法④	内 訳	実施コスト計	円
参画実施コスト			

-----以下、地域づくり課記入欄-----

A 市民参画職員チーム評価内容

総合評価	改善の余地があるとした項目と理由
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 方法 <input type="checkbox"/> 周知 <input type="checkbox"/> 実施時期・場所等 <input type="checkbox"/> 対象者(対象地域) <input type="checkbox"/> 結果公表
<input type="checkbox"/> 改善の余地あり	

B 市民参画・協働推進委員会評価内容

総合評価	改善の余地があるとした項目と理由
<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 方法 <input type="checkbox"/> 周知 <input type="checkbox"/> 実施時期・場所等 <input type="checkbox"/> 対象者(対象地域) <input type="checkbox"/> 結果公表
<input type="checkbox"/> 改善の余地あり	